

“2021年度 関東ブロック・ユネスコ活動研究会in栃木”  
第2分科会 平和の心・国際理解

～地方ユネスコ協会の国際交流事例～

『中国とインドネシアとの国際交流』

前橋ユネスコ協会

# 前橋ユネスコ協会

《創立》 1949(昭24)年 2月18日

《設立》 1967(昭42)年 3月 2日

《会員》 約50名(団体会員含)

《事業》 国際理解バス、外国料理教室、児童絵画展、寺子屋運動、世界遺産視察研修、バザー、ユネスコスクール支援、中国交流事業、インドネシア交流事業、群馬ユ連連携事業

《連携》 群馬県ユネスコ連絡協議会、前橋市国際交流協会

《特徴》 1974(昭49)～1988(昭63)当協会に青年部活動があった。その青年部メンバーが、今も会員として事業に参画している。



## 中国との交流 その1 (安徽省)

### ➤ 「論語に学ぶ」

1985 (昭60) 年、水沢利忠氏 (県立女子大教授、前橋市在住) を講師に5回シリーズで実施。その後、月2回の勉強会。後年、「史記を学ぶ会」として継続。1992 (平4) 年、水沢教授叙勲受賞記念講演会開催。

### ➤ 「葛新民中国画展」

水沢教授の紹介で、1984 (昭59) 年、安徽省出身・中国画家・葛新民氏との交流が始まり、1987 (昭62) 年、葛新民中国画展、1990 (平2) 年、李山・葛新民二人展をそれぞれ前橋市内で開催した。

### ➤ 右の写真は、1987年「葛新民中国画展」



## 中国との交流 その1 (安徽省)

- ▶ 「日中書画芸術展覧」  
1991 (平3) 年9月7～13日、花摘幹夫・河内君平・葛新民各氏の合同展覧会を、中華人民共和国安徽省博物館で開催。
- ▶ 「第1回中国訪問団」  
1991 (平3) 年9月4～11日、上海経由で訪中。安徽省合肥市の展覧会準備、開幕式、交流会に参加した9名で対応。帰国は北京経由。
- ▶ 右の写真は、1991年「訪中団メンバー」
- ▶ メモ；中華人民共和国の人口；14億人・外務省、建国1949.10.1、文化大革命1966～76 (77終結宣言)、日中国交正常化1972.9.26



## 中国との交流事業 その1 (安徽省)

### ▶ 安徽省について

《人口》 6 7 0 0 万人

《面積》 1 3 9, 6 0 0 平方km

《歴史》

道教の創始者・老子、荘子の故郷。三国時代の  
武将・曹操、周瑜を輩出。

《観光》 黒い瓦と白い壁の屯溪老街、黄山

### ▶ 合肥市について

《人口》 5 3 0 万人

《面積》 7, 2 6 6 平方km

《最近の情報》

「大きな田舎」から半導体企業の集まる「華やかな都市」、  
「最先端サイエンス都市」などと呼ばれる省都。

### ▶ 右の写真は、1994年10月「黄山観光」

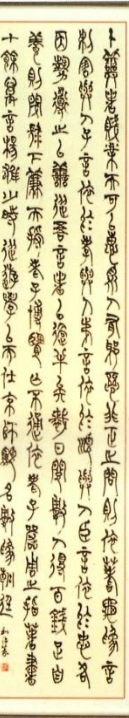


## 中国との交流事業 その1 (安徽省)

- ▶ 「現代中国書画家作品展」開催  
1991 (平3) 年10月16~21日、前橋市民会館 (前橋展)。同年12月16~22日、日中友好会館美術館 (東京展) を開催。  
(同年9月に中国で開催した展覧会の内容で日本の書画展を開催した。)
- ▶ 「中国書画家の受入れ」  
上記作品展の書画家らを受け入れて、作品展開催中に歓迎レセプションなど交流事業を行った。
- ▶ 右の写真は、1991年「中国書画作品展」



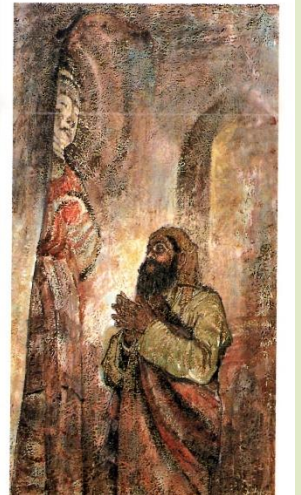
葛新民畫《大日如來》



河内君平書  
《漢書列傳》



花摘幹夫畫《紫陽花》



## 中国との交流 その1 (安徽省)

- ▶ 「安徽省使節団」受入れ  
1992 (平4) 年1月21日、安徽省使節団が前橋を訪問。歓迎会などで関係者と交流を行った。
- ▶ 「安徽省経済貿易友好代表団」受入れ  
1994 (平6) 年4月20日、中国友好代表団が前橋を訪問。歓迎会など交流を行った。
- ▶ 右の写真は、1992年「安徽省使節団受入」



## 中国との交流 その1 (安徽省)

- ▶ 「中国児童生徒書画展」  
1994 (平6) 年10月25～13日、前橋市内の子供達の作品と中国の子供達の作品の合同書画展を、中国安徽省博物館で開催。
- ▶ 「第2回中国訪問団」  
1994 (平6) 年10月23～29日、北京経由で訪中。安徽省合肥市の展示会場で開会式に参加、その後、交流会や学校訪問などを行った。訪中参加者は15名。帰国は上海経由。
- ▶ 右の写真は、1994年「合肥市書画展開会式」





## 中国との交流 その1 (安徽省)

- ▶ 「前橋・合肥児童生徒書画展」  
1995（平7）年6月28～30日、群馬県生涯学習センターで書画展を開催。  
（日本児童＝7校約120点、中国児童＝10校約100点、中国書家＝約60点）
- ▶ 「合肥市文化教育代表团」受入れ  
上記の書画展開催中に合肥市教育関係者や書画家ら5名と交流を行った。
- ▶ 右の写真は、1995年「前橋・合肥児童生徒書画展」



## 中国との交流 その1 (安徽省)

### ▶ 「三国志講演会」

1996 (平8) 年9月20日、中国に詳しい小説家・伴野朗 (ろう) 氏を講師に、市内「煥乎堂」書店ホールにて講演会を実施した。

### ▶ 「伴野朗先生と行く三国志の旅」

1996 (平8) 年11月1～10日、西安、成都、武漢、三国志ゆかりの地を巡る旅に前橋ユネスコ協会会員が参加した。メンバーは中尾彬、池波志乃さんら13人で、訪問地の方々と交流をした。

▶ 右の写真は、1996年「三国志の旅」



## 中国との交流 その1 (安徽省)

- ▶ 中国安徽省合肥交流事業の終息  
1995 (平7) 年6月開催の書画展のあと、交流に陰りが出て以後交流は終息した。
- ▶ (原因)  
中国側窓口は、外事弁公室が前面に出て、経済活動目的がハッキリしてきたこと。
- ▶ (対策)  
前橋側は、教育を視点とした交流を目指し、子供たちの情報交換などを模索した。
- ▶ (結果)  
日本からの工場進出の期待が強いことから、交流は終息となった。
- ▶ 右の写真は、1994年「天安門広場」



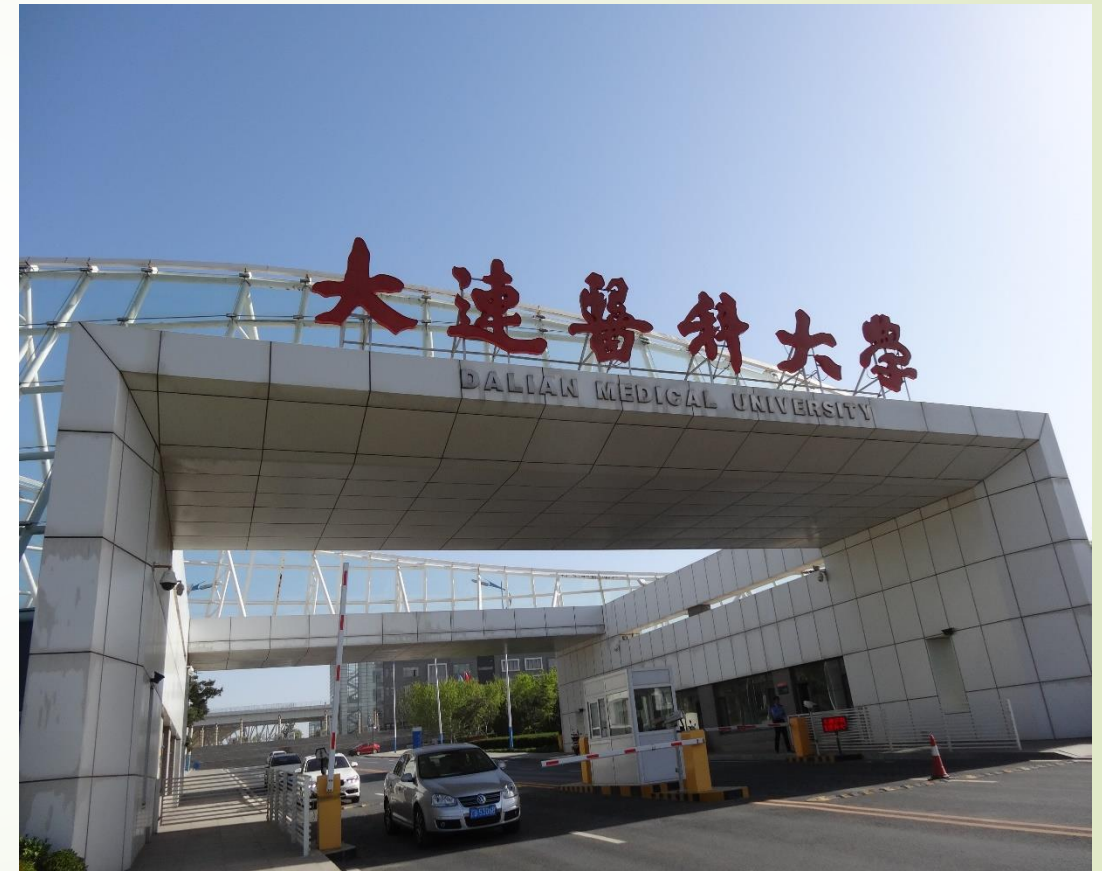
## 中国との交流 その2 (大連)

- 中国留学生との交流事業  
1987年(昭62)年頃から、小濱一弘氏(群馬大学教授、前橋市在住)に学ぶ医学部薬理学教室留学生と前橋ユネスコ協会の交流が始まる。
- 1990～2010年、小濱教授は毎年、大連医科大学で講義を行う。
- 1997年(平9)年、大連医科大学と群馬大学医学部の研究提携締結。同年7月29日、大学関係者との交流会開催。  
群馬大学に学ぶ中国留学生や、卒業して帰国した留学生と交流が続く。
- 「外国料理教室」開催  
1987(昭62)年から実施している事業であるが、1991(平3)年以来、中国留学生との交流から、中国料理を中心に開催している。
- 右の写真は、「中国留学生家族との交流会」



## 中国との交流 その2（大連）

- ▶ 「第1回大連友好の旅」  
2000（平12）年9月16～18日、募集した8名が参加。大連医科大学と群馬大学医学部の研究提携締結後、市民間の交流を模索し訪中が行われ、施設見学や交流が図られた。
- ▶ 「大連交流」受入れ  
2001（平13）年3月29日～4月5日、林原氏（大連医科大学教授）ら2名を、前橋シティマラソン参加に合わせ受入れ。以後、林原氏を2001年8月、2002年8月受入れ、2003～2007年・2009年に同マラソン参加で受入れしている。
- ▶ 右の写真は、「大連医科大学入口ゲート」



## 中国との交流 その2 (大連)

- ▶ 「第2回大連友好の旅」派遣  
2005 (平17) 年7月24~27日、募集した8名が参加。大連市民との交流や施設見学が行われた。
- ▶ 「大連交流 (受入れ) 事業」  
2005 (平17) 年10月10日、大連医科大学学長らの3名が来日し、同日歓迎交流会を行った。
- ▶ 中華人民共和国遼寧省大連市の概況  
人口 ; 600万人、面積 ; 12, 574平方km  
ロシア統治の歴史から街並みが美しく公園が多い。観光は二百三高地、旅順口戦跡。瀋陽に近い。産業は石油化学、設備製造、造船業など
- ▶ 右の写真は、「旅順博物館 (大連市)」



## 中国との交流 その2 (大連)

### ▶ 「第3回大連友好の旅」

2015 (平27) 年5月30日～6月1日、かねてからの懸案である記念桜の植樹について協議のため大連を訪問。

### ▶ 「大連交流」受入れ

2016 (平28) 年10月18日、大連医科大学関係者の来日により、歓迎交流会を行った。

### ▶ 「第4回大連友好の旅」

2017 (平29) 年5月12～15日、募集した8名が参加。友好記念として大連医科大学構内に桜の木を寄贈、植樹を行った。

### ▶ 右の写真は、2017年「大連友好の旅」



## 中国との交流 その2 (大連)

- ▶ 中村宏氏の墓参  
中国との交流を積極的に行ってきた中村宏氏が2020（令2）年8月亡くなったことから、同年11月8日、前橋市在住の留学生が、同氏が眠る永寿寺（前橋市）において墓参を行った。
- ▶ 大連との交流事業の今後について  
群馬大学留学生との交流から始まった中華人民共和国遼寧省大連市との交流事業は、顔の見える市民との交流であることから、これからも交流の継続が見込まれる。
- ▶ 右の写真は、「大連訪問時の様子」





## インドネシアとの交流

- ▶ 「インドネシア・バリ島児童絵画展」  
1980（昭55）年10月、森宗平氏（淑徳大学教授、前橋市在住）がパイプ役となりバリ島の児童画展を市内で開催する。
- ▶ バリ島の研修生受入れ  
上記児童画展に伴い、学校法人マドキン学園理事長・マデオキンアディアナ氏及び幼稚園教諭2名が、森教授宅で1月半滞在。
- ▶ 県・市・報道機関の表敬訪問、公私幼稚園・保育所など視察研修を行った。その際の補佐役と交流会を前橋ユネスコ協会で行った。
- ▶ 右の写真は、1980年「バリ島児童絵画展」



# インドネシアとの交流

- ▶ **インドネシア共和国・バリ州**  
《人口》422万人、州都デンパサル市834千人  
《位置》ジャワ島の東の島、面積5,632平方km、最高標高アグン山3,142m、  
(インドネシア共和国は、人口2億7千万人)
- ▶ **マドキン学園ヤムーナ校**  
1980年創立。幼児教育が大切という考えにより幼児教育からスタートした。以後、同学園は、小学校、中学校を設置した。  
《規模》  
幼稚園40名、小学校250名、中学校150名（'17.9現在）  
《特徴》  
日本やオーストラリア、近隣国との交流。インドネシアの伝統的な文化や芸能、芸術に力を入れている。
- ▶ 右の写真は、2011年「ヤムーナ校創立記念式典」



## インドネシアとの交流

- ➡ 「バリ島訪問」  
1981（昭56）年7月、当協会青年部3名が訪問。教育交流、交歓会など文化交流を行った。
- ➡ 「バリ島親善訪問」  
1982（昭57）年8月21～26日、前橋市教育長メッセージを携えて相原会長以下14名で表敬訪問。教育支援としてその後3名の教師を2週間滞在させている。
- ➡ 右の写真は、1981年「バリ島訪問」



## インドネシアとの交流

- ▶ 「バリ州教育関係者」受入れ  
1983（昭58）年7月、マスティカ氏らインドネシアの教育関係者4名を受入れ。教育施設視察や交流、交歓会などを行った。
- ▶ 「バリ島親善訪問」  
1984（昭59）年8月15～22日、前橋市内教育関係者ら47名が、インドネシア独立記念日にバリ州知事からの招待状を受けて訪問。
- ▶ 右の写真は、1983年「インドネシア教育関係者の受入」



## インドネシアとの交流

- ▶ 「バリ州関係者」受入れ  
1984（昭59）年11月、オカ氏らインドネシア・バリ州総務部長ら4名を受入れ。表敬訪問や交流、交歓会などを行った。
- ▶ 「バリ島教育関係者」受入れ  
1985（昭60）8月1日、来日したアディアナ氏を迎えて交流会を行った。
- ▶ 右の写真は、1984年「前橋市内教育関係者バリ島訪問」



## インドネシアとの事業

- ▶ 「オカ家結婚式招待による訪問」  
1992（平4）年11月、インドネシア・バリ州総務部長のオカ氏（王家）の息子の結婚式に参加。表敬訪問や交流、交歓会などを行った。
- ▶ 「バリ島親善訪問」  
1995（平7）年8月26～31日、募集した11名で訪問。表敬訪問や交流会を行った。
- ▶ 「バリ島教育関係者」受入れ  
1996（平8）年5月23～25日、来日したアディアナ氏を迎えて交流会を行った。
- ▶ 右の写真は2010年「修学旅行で来日のメンバーとJR前橋駅にて」



## インドネシアとの交流

- ▶ 「交流事業の見直し」  
マドキン学園の創立（1980年）当時からアディアナ理事長を含む関係者と交流がスタートした。以後、同学園は、小学校、中学校を設置した。同理事長は私立校の特色として、日本やオーストラリアとの交流事業を推進。
- ▶ 同理事長には、日本からの経済的な支援の期待感があることから、本人と話し合いをした。
- ▶ その結果、お互いに経済も含め平等を基本として、長く付き合っていける草の根市民交流や、お互いにユネスコ活動を進めていくこととなった。
- ▶ 右の写真は、2013年「草津白根山訪問」



## インドネシアとの交流

- ▶ 「その後の交流」  
1999（平11）～2019（令元）年、参加者を募集して、バリ島を訪問して交流をしている。ただし、マドキン学園ヤムーナ校から修学旅行が日本に来るときには、訪問しないこともある。
- ▶ 「インドネシア教育基金」  
2002（平14）～2019（令元）年、毎年、児童生徒1名の授業料を支援することとし、同校の図書  
の充実なども支援する基金会計を前橋ユネスコ協  
会内に創設。この間、18名の教育支援を行った。  
2020（令2）年3月末で教育委員会の指導により基  
金を清算した。
- ▶ 右の写真は、2011年9月「教育基金で支援した児童」





## インドネシアとの交流

- ▶ 「これからについて」  
現在、コロナ禍で交流はネットのみだが、今後も教育支援や交流を、前橋ユネスコ協会本会計予算で行う。
- ▶ 2009（平21）サーズ、2011（平23）東日本大震災、ジャワ島やスラウェシ島地震、バリ島アグン山噴火などもありました。これからも従来の交流が出来ることを祈念しています。
- ▶ ～草の根的な市民交流を続けていく～
- ▶ 右の写真は、2015年「マドキン学園ヤムーナ校幼稚園児ら」



# 前橋ユネスコ協会・国際交流の歩み

年	インドネシア	中国	その他
1 1980(S55)	10月3名の研修生受入れ、絵画展		淑徳大・森宗平教授
2 1981(S56)	7月、表敬訪問(3名文化交流)		
3 1982(S57)	8/21～26相原会長ら15名訪問 その後、2週間3名教育交流プログラム		
4 1983(S58)	7月外ヶ崎氏ら4名招請受入れ	葛新民来日	群馬県立女子大・水沢利忠教授
5 1984(S59)	8/15～22教育視察47名訪問 11月パリ州総務部長ら4名受入れ	葛新民中国画展(煥乎堂)	(インドネシア初等教育義務化)
6 1985(S60)	8/17アサヒ氏受入れ		「論語に学ぶ」開始
7 1986(S61)			
8 1987(S62)		6/26～29葛新民中国画展	国際交流促進講座 外国料理教室(中国) 「史記を学ぶ会」開始
9 1988(S63)			国際交流促進講座 国際理解バス(中国大使館)
10 1989(S64)			国際交流促進事業(同年、前橋市国際交流協会設立) 8/9小浜氏大連講演会 林原氏来日 国際理解バス(中国大使館)
11 1990(H02)		10/5～11 李山・葛新民二人展	
12 1991(H03)		9/7～13日中書画芸術展覧/安徽 10/16～21日中書画芸術展覧/市内 9/4～11 安徽省・合肥市訪問	国際理解バス(中国大使館)
13 1992(H04)	オカ家結婚式招待で訪問	1/21使節団受入れ	国際理解バス(中国大使館)
14 1993(H05)			
15 1994(H06)		4/20経済貿易友好代表団受入れ 10/23～29中国児童書画展・視察団訪問	11/12外国青年交換研修会 阪神淡路大震災
16 1995(H07)	8/26～31訪問(田村他11名)	6/28～30日本前橋・中国合肥児童書画展・視察団受入れ	
17 1996(H08)	5/23～25アサヒ氏受入れ	11/1～10中国三国志の旅 9/20三国志講演会	エクアドル訪問
18 1997(H09)		7/29大連医科大学受入れ	(大連医科大学→群馬大学提携) 10/25～26白川郷視察
19 1998(H10)			10/24～25奈良視察
20 1999(H11)	8/27～31ホロトケル経由で訪問(植原、小池等)交流20周年式典参加		10/11～31エクアドル訪問

年	インドネシア	中国	その他
21 2000(H12)		9/16～18大連友好の旅8人	
22 2001(H13)	7/8～9アサヒ氏受入れ(教島幼稚園訪問)	3/29～4/5マラソン受入れ2人 8/17受入れ	教育基金制度化 ブラウス256着
23 2002(H14)	7/18～23 シカラジ等見学(教育支援調印)	8/12受入れ	足長教育支援開始; グスティ ヲ ダム ウィンティ 中2女子
24 2003(H15)	7/8～13アサヒ氏長男+結婚式出席、4名 6/14～30教育アサヒで絵画展	4/23～5/2マラソン受入れ	スギ アニサ SUGI ADNYANA 中2男子
25 2004(H16)	7/1～6 ホロトケル、ブリンハ見学後訪問	4/21～21～30マラソン受入れ1名	スギ アニサ SUGI ADNYANA 中3男子
26 2005(H17)	8/27～31 阿久沢グループ訪問(4名) 9/1～6 別グループ訪問(5名)、児童絵受領 し、絵画展を市内公民館巡回	4/21～29マラソン受入れ 7/24～27大連友好の旅8人 10/10大連医科大学学長歓迎会	ウレ イ リ 中2女子 10/11 バリ島テロ
27 2006(H18)	6/17～18アサヒ氏受入れ 7/3～23 1社、祖母葬儀に須藤圭が出席、児童 絵受領 絵画展を市内公民館巡回	4/20～29マラソン受入れ	ユウ コウ 小6女子
28 2007(H19)	8/28～9/2 揮澤グループ3名訪問 絵画展を市内公民館巡回	4/20～26マラソン受入れ	ユウ コウ 中1年女子
29 2008(H20)	7/2～7阿久沢グループ6名訪問 b a l i ～ y o g j a 経由、市内で絵画展		アサヒ ルネイ サトウ 中1年男子
30 2009(H21)	6/28～7/1江口理事訪問 マドゥ学園創立30周年祝辞送付	4/23～28マラソン受入れ サースにより5/22～24大連訪問中止	アサヒ ルネイ サトウ 中2年男子
31 2010(H22)	6/14～25アディアナ他修学旅行で来日、6/20 赤城山ツアー(21名)		アサヒ ルネイ サトウ 中3年男子
32 2011(H23)	9/23～10/1阿久沢グループ5名訪問 yogya 経由 ～ baai 理事長交替		イサ ハグス トウヤブト 中2年男子 3/11東日本大震災
33 2012(H24)	9/27～10/1阿久沢グループ6名訪問、3月校舎焼 失見舞い		イ マン アル スギヤ 小5年男子
34 2013(H25)	5/9～5/12アディアナ家族5名受入れ 9/8～9/29阿久沢訪問(出家式) 9/23～9/29須藤ほか3名訪問		アサヒ ルネイ サトウ 中2年男子 12/4アジア共同休学校(釜山)訪問
35 2014(H26)	バリ交流35周年 11/12～17(7名)訪問		アサヒ テルカ 中1年男子
36 2015(H27)	9/8～17(2名)訪問、ホノコ経由	5/30～6/1大連訪問	アサヒ テルカ 中2年男子 12/6～13カンボジア・ベトナム訪問
37 2016(H28)	9/24～29(4名)訪問	10/18受入れ(歓迎会)	コ アンテ カティ サティ ヤニ 中2女子
38 2017(H29)	9/23～29(6名)訪問、アサヒ(1月死去)弔 意	5/12～15大連友好の旅8人	ウレ アト ラルカ テウサティ 中1男子 カンボジア受入れ
39 2018(H30)	10/4～11(5名)訪問、クラング-ル経由		イサ アニ コマン ティ アティ 中1年女子
40 2019(R元)	5/14～26(2名)訪問		アサヒ ルネイ サトウ グナ 中3年男子
41 2020(R2)			3月末教育基金清算、新型コロナウイルス
42 2021(R3)			新型コロナウイルス

～ご清聴ありがとうございました～

お互いに、健康に気をつけて  
ユネスコ活動を続けて  
いきましょう！！  
～前橋ユネスコ協会～



ジンバランの夕陽（バリ島西側）